

平成 25 年度

事業報告

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

一般財団法人 開陽丸青少年センター

I 事業の状況

1. 海と船の青少年育成活動

当館は、開陽丸の持つ歴史性を活かし、一般及び特に青少年に海事知識や歴史についての啓発を行い、青少年の海洋への興味、関心や歴史の持つ夢や冒険心を高めることに寄与することを目的に展示、体験事業等を実施してきた。

(1) 開陽丸記念館青少年研修事業

①	入館者へのガイド解説（団体無料） ガイド1名配置
②	記念館入館青少年等への啓発研修
	「開陽丸クイズ」（GW、夏休み期間） 対象：小学4年生から中学生 目的：小中学生が開陽丸資料を楽しみながら理解、学習すること。 収入（@100×213人） 参加景品：開陽丸オリジナルバッチ（前年度231人）
③	町内小中学校生への郷土学習提供 213名参加（前年度139名）
④	八重の桜特集「銃展示ケース」の展示替・ポスター展示・BGM/期間6月～
⑤	さよなら江差線パネル展示5枚 4月から通年

(2) 修学・研修旅行用事前学習資料の配布

訪問校への事前学習資料「蘇った幕末の軍艦 開陽丸」DVDの配布

(3) マリーナ利活用事業

マリーナを活用した青少年の健全育成を図るためのレクリエーション事業、海洋の自然等を生かした事業の実施（町直営後掲）

①	マリーナ鑑賞池の管理（指定管理事業）
②	マリーナ徒渉池・ジャングルジム・芝生の管理（指定管理事業）
③	ヨット競技大会

(4) その他

青少年有料入館者数は3,362人、対前年度比較433人、11.4%の減少（個人76人、団体509人）。青少年無料入館者数は232人、対前年度比較110人、32.2%の減少（個人△189人、団体+79人）となり、合計青少年入館者数は、3,594人、対前年度比較543人、13.1%の減少（個人△113人、団体△430人）となった。団体無料は町内小中学校等の入館である。

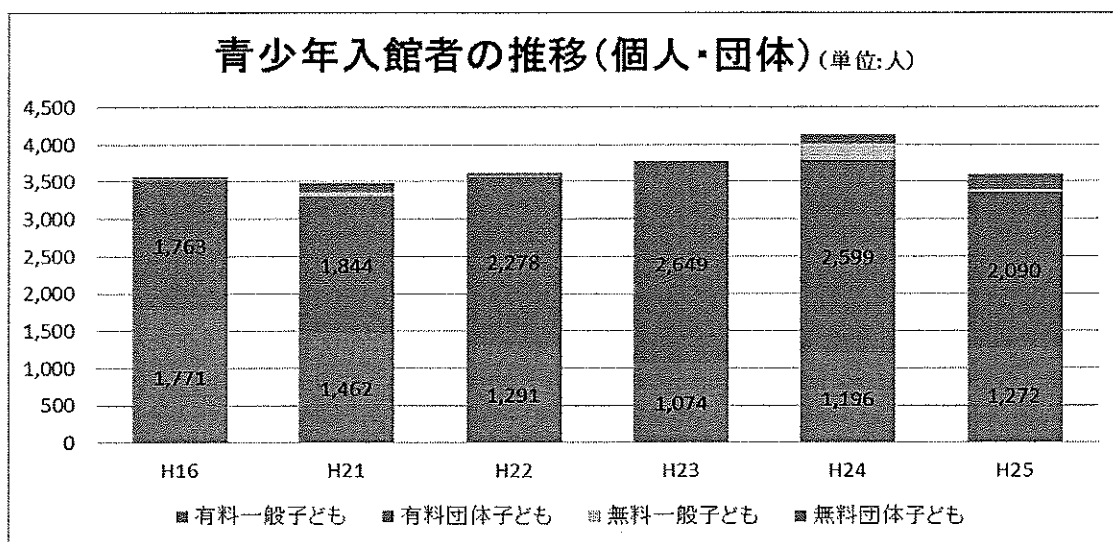
青少年入館者はこの間、平均20%台で推移してきた。長期的には少子化の影響による減少であり、特に前年度比較で大幅減少となっているのは震災により一時的に増加した道央圏の中学校の修学旅行が東北に戻ったことによるものと考えられる。近年の傾向は微減であるが、全国のフローティングシップの状況か

らは、複合的で大型の施設が都市圏で加速化しつつあり、他方地域圏においても「魅力的なまちづくり」が推進され、本町の置かれる位置は今後とも厳しさを増してくることから、施設のリニューアルや充実が求められて来るものと考えられる。

青少年入館者の推移

	H16	H21	H22	H23	H24	H25	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸長率	増減	伸長率	増減	伸長率
入館者数	19,282	18,105	19,370	16,219	19,775	19,225	▲ 57	▲ 0.3	1,120	6.2	▲ 550	▲ 2.8
有料一般子ども	1,771	1,462	1,291	1,074	1,196	1,272	▲ 499	▲ 28.2	▲ 190	▲ 13.0	76	6.4
有料団体子ども	1,763	1,844	2,278	2,649	2,599	2,090	327	18.5	246	13.3	▲ 509	▲ 19.6
有料計	3,534	3,306	3,569	3,723	3,795	3,362	▲ 172	▲ 4.9	56	1.7	▲ 433	▲ 11.4
無料一般子ども	6	48	8	0	208	19	13	216.7	▲ 29	▲ 60.4	▲ 189	▲ 90.9
無料団体子ども	33	125	54	62	134	213	180	545.5	88	70.4	79	59.0
無料計	39	173	62	62	342	232	193	494.9	59	34.1	▲ 110	▲ 32.2
青少年計	3,573	3,479	3,631	3,785	4,137	3,594	21	0.6	115	3.3	▲ 543	▲ 13.1
青少年構成	18.5	19.2	18.7	23.3	20.9	18.7						

※H16年は10月で台風被害のため閉館



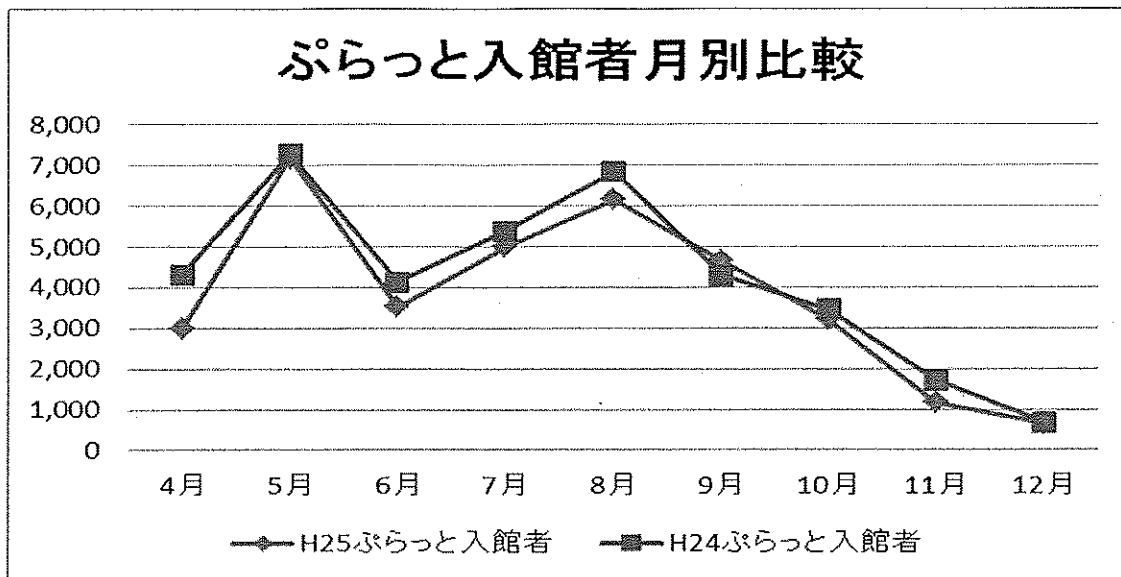
2. 開陽丸青少年センターの管理運営

当センターは、「開陽丸青少年センターの設置及び管理に関する規程」に基づき、(1) 地域交流施設「えさし海の駅開陽丸」、(2) 資料展示施設「開陽丸記念館」の管理運営を実施している。

(1) 地域交流施設「えさし海の駅開陽丸」の利用状況

「えさし海の駅開陽丸」は、売店・飲食、休憩を目的に昨年開設され、昨年4月から全面的に「ぷらっと江差」の経営となった。本年度の利用者は34,470人で3,600人、9%の減少となっている。特に、町民利用が4,100人、21%の減少となっており、海の駅開設イベントにおける無料入館者1,200人を除いても2,900

人、16%の減少となっており町民利用の定着が大きな課題であり、そのためには地域住民の利用を図る公園等の整備も課題となる。



(2) 資料展示施設「開陽丸記念館」の利用状況

①利用状況

開陽丸記念館の入館者数は、19,225人、対前年度比較550人、2.8%の減少（個人△81人、団体△469人）となった。これを有料・無料別区分で見た場合「有料計」では、18,630人、対前年度比較576人、3.2%の増加（個人+1,165人、団体△589人）、「無料計」では、595人、対前年度比較△1,126人、65.4%の減少（個人△1,246人、団体+120人）となっている。なお、「無料計」の減少は、昨年度4月14日、15日両日の海の駅オープン無料入館（大人1,014人、子ども193人、合計1,207人）が主なものである。

「開陽丸記念館」利用の推移

区分	H16	H21	H22	H23	H24	H25	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸長率	増減	伸長率	増減	伸長率
入館者数	19,282	18,105	19,370	16,219	19,775	19,225	▲57	▲0.3	1,120	6.2	▲550	▲2.8
有料一般大人	11,917	11,955	11,783	9,906	11,417	12,506	589	4.9	551	4.6	1,089	9.5
有料一般子ども	1,771	1,462	1,291	1,074	1,196	1,272	▲499	▲28.2	▲190	▲13.0	76	6.4
有料団体大人	3,406	2,120	3,482	2,200	2,842	2,762	▲644	▲18.9	642	30.3	▲80	▲2.8
有料団体子ども	1,763	1,844	2,278	2,649	2,599	2,090	327	18.5	246	13.3	▲509	▲19.6
有料計	18,857	17,381	18,834	15,829	18,054	18,630	▲227	▲1.2	1,249	7.2	576	3.2
無料一般大人	244	357	163	88	1,163	106	▲138	▲56.6	▲251	▲70.3	▲1,057	▲90.9
無料一般子ども	6	48	8	0	208	19	13	216.7	▲29	▲60.4	▲189	▲90.9
無料団体大人	142	194	311	240	216	257	115	81.0	63	32.5	41	19.0
無料団体子ども	33	125	54	62	134	213	180	545.5	88	70.4	79	59.0
無料計	425	724	536	390	1,721	595	170	40.0	▲129	▲17.8	▲1,126	▲65.4

次に、有料入館者の増加要因については、道調査(2月)の来道客数は24ヶ月連続で前年を上回る。また、日銀函館支店調査「道南地方の金融経済動向」の函館市内の主要施設の観光動向は、下表のとおりであり前年を単純平均で8.0%増加し観光需要の動向は本年3月段階では一段引上げ「回復している」となっている。当館は4月、5月のゴールデンウィークの悪天候、7月から9月のJR北海道の事故等の悪条件もあったが、都市部の景気回復もあり、五稜郭タワー並みの伸張となっている。

主要統計調査伸長率(1月～12月)単位:%		2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)
北海道調査	施設利用客数	▲ 11.5	21.1	▲ 10.4
日銀函館支店	主要ホテル	▲ 2.8	9.0	5.5
	函館空港	▲ 9.7	7.5	8.9
	ロープウェイ	▲ 13.2	17.6	13.0
	五稜郭タワー	▲ 13.1	8.2	3.7
開陽丸青少年センター	開陽丸	▲ 13.5	15.5	3.9
江差町	追分会館	▲ 20.1	▲ 6.2	▲ 1.2

対前年同月の比較													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
H25開陽丸	100.0	75.0	127.7	▲13.7	7.5	▲14.6	1.5	13.5	▲1.3	9.7	▲11.7	113.3	3.9
H24開陽丸	▲97.1	▲75.0	▲63.1	204.1	6.7	▲4.0	12.8	2.9	7.1	38.3	58.7	▲14.1	15.5
H23開陽丸	▲45.6	▲94.1	▲38.0	5.8	▲4.8	11.5	▲14.9	▲13.6	▲8.1	▲39.1	▲32.2	▲36.3	▲13.5
H25五稜郭タワー	▲15.5	0.0	▲4.3	9.5	5.0	7.0	8.7	0.7	2.6	▲2.1	1.9	12.5	3.7
H25来道客数	1.6	4.1	1.9	4.3	7.6	6.2	5.4	3.3	4.6	4.2	6.5	5.1	4.6

② 利用者の特徴

有料入館者は、前年度対比で576人、3.2%の増加となっている。対前年度の増減内訳では、「一般大人」が1,089人(+9.5%)、「一般子ども」が76人(+6.4%)の増加とファミリー型が増加した。一方、「団体大人」は旅行形態の変化や北斗市の観桜等、他地域への流出等で80人(△2.8%)、「団体子ども」は道央圏修学旅行が509人(△19.6%)とそれぞれが減少となった。

③ 利用者の推移と変化

<有料入館者の推移>

有料入館者の推移では、10年前の平成16年度を100とした場合、平成21年度は新型インフルエンザの流行や景気の落込み、平成23年度は東北大震災の影響による減少となっている。平成16年度は台風被害により10月での休館や旭川の旭山動物園の「あざらし館」公開による人気などにより前年を8,852人(△32%)と大きく減少した年である。平成16年度はこのように、平成2年のオープ

ン以来の大幅減少となった年であり、前期と区分する画期であった。

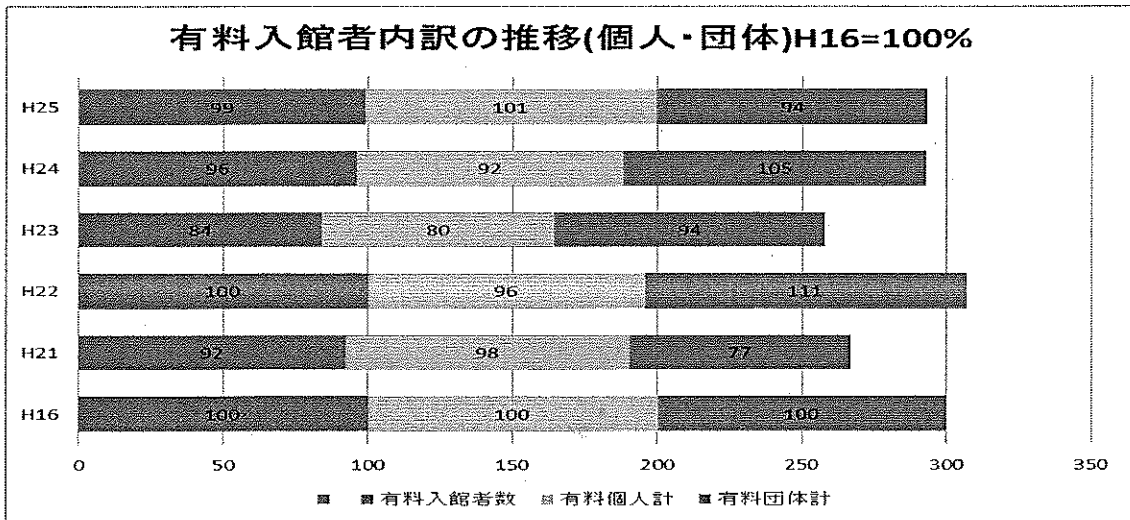
これを100とした場合、有料入館者数は、前記のような減少年もあるが、99%まで回復の流れにある。個人ではほぼ回復基調となっているが、団体は「大人」が20%減、「子ども」では19%増加となっている。「団体大人」は旅行形態の変化により減少しつつあるが、観桜等で北斗市の伸張や函館市の増加が要因と考えられることや、格安ツアーによる滞在時間の短縮が考えられる。「団体子ども」は函館市が広域合併になったこと等から宿泊研修生徒数が増加しているものと考えられ、一方東北大震災による道央圏の修学旅行は震災復興により東北へ戻ったことから大幅減少となっている。

「開陽丸記念館」利用の推移

単位:人・%

区分	H16	H21	H22	H23	H24	H25	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸長率	増減	伸長率	増減	伸長率
入館者数	19,282	18,105	19,370	16,219	19,775	19,225	▲ 57	▲ 0.3	1,120	6.2	▲ 550	▲ 2.8
有料一般大人	11,917	11,955	11,783	9,906	11,417	12,506	589	4.9	551	4.6	1,089	9.5
有料一般子ども	1,771	1,462	1,291	1,074	1,196	1,272	▲ 499	▲ 28.2	▲ 190	▲ 13.0	76	6.4
有料団体大人	3,406	2,120	3,482	2,200	2,842	2,762	▲ 644	▲ 18.9	642	30.3	▲ 80	▲ 2.8
有料団体子ども	1,763	1,844	2,278	2,649	2,599	2,090	327	18.5	246	13.3	▲ 509	▲ 19.6
有料計	18,857	17,381	18,834	15,829	18,054	18,630	▲ 227	▲ 1.2	1,249	7.2	576	3.2
無料一般大人	244	357	163	88	1,163	106	▲ 138	▲ 56.6	▲ 251	▲ 70.3	▲ 1,057	▲ 90.9
無料一般子ども	6	48	8	0	208	19	13	216.7	▲ 29	▲ 60.4	▲ 189	▲ 90.9
無料団体大人	142	194	311	240	216	257	115	81.0	63	32.5	41	19.0
無料団体子ども	33	125	54	62	134	213	180	545.5	88	70.4	79	59.0
無料計	425	724	536	390	1,721	595	170	40.0	▲ 129	▲ 17.8	▲ 1,126	▲ 65.4

有料入館者内訳の推移(個人・団体)H16=100%



有料入館者数内訳別推移

区分	H16	H21	H22	H23	H24	H25
有料入館者数	18,857	17,381	18,834	15,829	18,054	18,630
有料一般大人	11,917	11,955	11,783	9,906	11,417	12,506
有料一般子ども	1,771	1,462	1,291	1,074	1,196	1,272
有料個人計	13,688	13,417	13,074	10,980	12,613	13,778
有料団体大人	3,406	2,120	3,482	2,200	2,842	2,762
有料団体子ども	1,763	1,844	2,278	2,649	2,599	2,090
有料団体計	5,169	3,964	5,760	4,849	5,441	4,852

④ 利用者の入館要因等

様々な媒体を活用して利用者数を向上させるため、パブリシティの活用を中心に宣伝を行っている。

【開陽丸 HP の年間利用数】

	カウンター	年間利用数
平成 24 年 6 月末	21,872	-
平成 25 年 3 月末	31,344	9,472
平成 26 年 3 月末	46,791	15,447

【施設の認識要因】 北大建築計画学研究室 H24. 10 月調査

媒 体	利用率
旅行雑誌、観光パンフレットを見て知った	29.1%
テレビ・新聞	15.2%
通りすがりにたまたま見つけた	10.1%
町の HP	5.0%
開陽丸の HP	2.5%

3. 江差港マリーナの指定管理業務

マリーナ業務は指定管理者として、町からの管理の代行を行い施設の維持及び管理、使用許可、その他付随する業務を行っている。

前年度比較では、388 千円が減少。この内訳は「年間契約」が 287 千円 (5 隻)、一時利用で 101 千円 (14 隻) が減少している。

要因は高齢化と一時利用は車での牽引免許の規制などが言われている。マリーナに寄港する海の駅利用者からは、南西又は西よりの風になると島影から入るうねりが強く停泊が不便であり、本港への希望が多い。

マリーナ利用状況

区分	平成25年度						平成24年度						増減						
	年間契約		一時利用		合計隻数	合計金額	年間契約		一時利用		合計隻数	合計金額	年間契約		一時利用		合計隻数	合計金額	
	隻数	金額	隻数	金額			隻数	金額	隻数	金額			隻数	金額	隻数	金額			
ヨット	5m未満	2	17,710	0	0	2	17,710	2	17,710	0	0	2	17,710	0	0	0	0	0	
	5m以上	3	176,872	9	38,300	12	215,172	3	269,069	4	6,600	7	275,668	0	▲ 92,196	5	31,700	5	▲ 60,496
	計	5	194,582	9	38,300	14	232,882	5	286,778	4	6,600	9	293,378	0	▲ 92,196	5	31,700	5	▲ 60,496
ボート	5m未満	4	194,040	22	277,268	26	471,308	2	70,840	51	77,040	53	147,880	2	123,200	▲ 29	200,228	▲ 27	323,428
	5m以上	70	5,040,133	20	78,899	90	5,119,032	77	5,358,446	21	419,128	98	5,777,574	▲ 7	▲ 318,313	▲ 1	▲ 340,229	▲ 8	▲ 658,542
	計	74	5,234,173	42	356,167	116	5,590,340	79	5,429,286	72	496,168	151	5,925,454	▲ 5	▲ 195,113	▲ 30	▲ 140,001	▲ 35	▲ 335,114
その他	5m未満	0	0	17	34,410	17	34,410	0	0	0	0	0	0	0	0	17	34,410	17	34,410
	5m以上	0	0	0	1,160	0	1,160	0	0	6	28,400	6	28,400	0	0	▲ 6	▲ 27,240	▲ 6	▲ 27,240
	計	0	0	17	35,570	17	35,570	0	0	6	28,400	6	28,400	0	0	11	7,170	11	7,170
合計	5m未満	6	211,760	39	311,678	45	523,428	4	88,350	51	77,040	55	165,390	2	123,200	▲ 12	234,638	▲ 10	357,838
	5m以上	73	5,217,005	29	118,369	102	5,335,364	80	5,827,514	61	112,040	141	5,739,554	▲ 7	▲ 410,509	▲ 32	63,199	▲ 39	▲ 404,190
	計	79	5,428,765	68	430,037	147	5,868,792	84	5,716,064	82	531,168	166	6,247,232	▲ 5	▲ 287,309	▲ 14	▲ 101,131	▲ 19	▲ 388,440
	町内	42	2,439,660	0	5,960	42	2,445,610	37	2,302,336	0	5,960	37	2,308,286	5	137,324	0	0	5	137,324
町外	37	2,989,095	68	424,087	105	3,413,182	47	3,413,728	82	525,218	129	3,938,946	▲ 10	▲ 424,633	▲ 14	▲ 101,131	▲ 24	▲ 525,764	

艇庫利用を除く

一時利用推移

	平成25年度			平成24年度			平成23年度			25-24	24-23
	人数	延件数	金額	人数	延件数	金額	人数	延件数	金額	金額	金額
八雲町	8	22	209,794	9	27	320,242	8	31	178,698	▲ 110,448	141,544
七飯町	5	6	8,580	7	14	20,020	5	7	10,010	▲ 11,440	10,010
函館市	8	10	97,218	10	10	14,300	10	19	91,130	82,918	▲ 76,830
北斗市	3	4	5,720	3	8	11,440	2	2	2,860	▲ 5,720	8,580
松前町	1	1	4,290	1	1	4,290				0	4,290
江差町	4	6	61,305	3	4	9,830	2	4	9,500	51,475	330
森町				3	5	93,526	3	7	65,988	▲ 93,526	27,538

海の駅一時利用

区分	H25	H24
	件数	件数
ヨット	8	4
プレジャーボート	1	4
計	9	8

5. 海と船に関する資料の収集及び展示

帆船と蒸気船の歴史、科学技術などを通じて海洋と人との関わりを啓発し興味、関心を深める。

- ・開陽丸の見どころパネル展示
- ・新発見～汽笛タンクと換水装置展示～資料館内
- ・箱館戦争史跡マップ（町内）パネル展示
- ・えさし海の駅のオープンパネル展示
- ・みなとオアシス江差パネル展示
- ・特別展示等

時 期	展 示 内 容
4月～通年	さよなら江差線パネル展示 JR割引(1割引)
5/16～5/31	特別展示「烈士中島三郎助」パネル22枚/期間 延人員1,462人
6/30～8/31	特別展示「麦叢録に見る開陽丸と箱館戦争」パネル63枚 延人員5,870人
6月～	八重の桜特集「銃展示ケース」の展示替・ポスター展示・BGM/期間

6. 開陽丸に関する調査研究

1) 各種媒体による広報宣伝等の状況

2) 調査研究関係

① 調査研究

・平成25年6月10日石橋藤雄氏著作による3作目の「幕末・開陽丸」が出版。前作に引き続き新たに判明した点などを加筆し、水中考古学に掛けた半世紀の歩みをまとめた。

・国内動向では、佐賀県三重津海軍所跡の発掘調査が類似遺物の出土と研究が期待される。

・開陽丸に乗船した人物関係では、新たに田島応親、ブリューネ、カズヌーフ等も加えられる。

・9インチダールグレン砲写真(U.S. Naval Historical Center Photograph.)は架台の付属部品、操作の解明に有効な資料である。

・岩橋教章は開陽丸蒸気三等として乗組員であるとともに、軍艦操練所絵図認方として出仕した経験があり、「箱館戦争図絵」(函館中央図書館蔵)の「明治2年4月9日「江差沖通過の図」は、開陽丸沈没から130余日の江差が描かれ、図中にはガトリング砲らしきものや開陽丸座礁に救出に向かい、開陽丸とともに暴風雪により愛宕の浜に打ち寄せられた「神速」等当時を知る貴重な資料であり今後の解読に期待したい。

② 道南ブロック博物館施設等連絡協議会発信

・第1回アドベンチャーカレンダー テーマ「幕末維新・箱館戦争」2013年2月の同内容記事が北海道新聞夕刊みなみ風に連載

7. その他業務

(1) 開陽丸友の会との連携協力

- ・「開陽丸21世紀」新聞のホームページ掲載
- ・GW等のボランティア案内等の参加
- ・開陽丸を語る会への出席
- ・研修旅行への参加

(2) 開陽丸子孫の会との連携協力

- ・ 会長榎本隆充氏、小杉伸一氏等の開陽丸ゆかりの子孫の方々の来訪
- ・ 開陽丸子孫の会による全国発信情報
- ・ 関係者によるツアー
- ・ 幕府オランダ留学生派遣 150 年オランダツアー

(3) 事務改善

会計帳簿の合理化を図るため「PCA 公益法人会計システム」を導入。今後会計事務の迅速化が期待される。

II 庶務の概要

1. 基本財産

平成 26 年 3 月 31 日現在における基本財産は以下のとおりである。

科 目	前年度末	減少額	当年度末
基本財産			
構築物(開陽丸)	448,221,165	12,905,580	435,315,585
付属設備(展示)	67,126,083	2,338,636	64,787,447
基本財産計	515,347,248	15,244,216	500,103,032

2. 役員等に関する事項 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(1) 理事

役 職	氏 名	任 期	備 考
理 事	濱 谷 一 治	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町長 理事長
理 事	打 越 東 亜 夫	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町議会議長 副理事長
理 事	飯 田 隆 一	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 商工会長
理 事	森 宏 樹	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 元町職員
理 事	新 木 秀 幸	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町教育委員会教育長
理 事	濱 野 瑠 恵 子	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 元館長
理 事	室 谷 元 男	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 歴まち商店街組合理事長
理 事	近 藤 偉 喜	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 前西野会計事務所役員
理 事	萩 原 徹	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町議会議員
理 事	高 岡 広 明	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町教育委員会教育委員
理 事	田 畑 昌 伸	平成 24 年 5 月 28 日～平成	再任

		26年5月27日	田畑建設㈱代表取締役
監事	山崎鉄平	平成24年5月28日～平成26年5月27日	再任 山崎自動車商会(有)社長
監事	田島千造	平成24年5月28日～平成26年5月27日	再任 観光コンベンション協会副会長

(2) 評議員

役職	氏名	任期	備考
評議員	畑澤匡	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 前商工会青年部長
評議員	野澤道敏	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 商工会事務局長
評議員	横野晃一	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 元檜山青年会議所理事長
評議員	能登真弓	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 前ひやま漁協江差支所婦人部長
評議員	輪島絹子	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 開陽丸友の会副会長
評議員	長谷川篤	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 町副町長
評議員	葛西憲勝	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 檜山地域人材開発センター
評議員	田畑明	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 町政策推進課長
評議員	藤島一巳	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 前町教育委員会学芸員 道社会福祉協議会檜山地区事務所
評議員	小笠原敏文	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 五勝手屋本舗㈱専務取締役

3. 職員に関する事項 (平成25年12月末現在)

氏名	就職年月日	担当事務
須藤公德	平成24年4月1日	館長
原田峰雄	平成2年4月1日	業務係(マリーナ)
垣原尚美	平成2年4月1日	業務係(会計・庶務)
中川栄子	平成2年4月1日	業務係(案内・研修)

谷 口 彰	平成 23 年 6 月 10 日	業務係 (マリーナ)
磯 田 良 子	平成 15 年 4 月 1 日	業務係 (清掃)

4. 会議に関する事項

この年度における理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりである。

(1) 理事会

第 1 回理事会	ア	日 時	平成 25 年 5 月 10 日 午前 10 時～午前 10 時 50 分
	イ	場 所	開陽丸青少年センター研修室
	ウ	審議事項	議案第 1 号 平成 24 年度事業報告の承認について
			議案第 2 号 平成 24 年度計算書類等の承認について
			議案第 3 号 公益目的支出計画実施報告書の承認について
議案第 4 号 平成 24 年度監査報告の承認について			
		議案第 5 号 定時評議員会の招集の承認について	
第 2 回 みなし決議による理事会		日 時	平成 25 年 10 月 7 日 審議事項 評議員会の招集について
第 3 回理事会	ア	日 時	平成 25 年 10 月 25 日 午前 11 時～午前 11 時 50 分
	イ	場 所	開陽丸青少年センター研修室
	ウ	審議事項	報告第 1 号 平成 25 年度職務執行状況の(上期業務)報告について
議案第 1 号 開陽丸青少年センターの運営(冬期間の休館)について			
議案第 2 号 「石橋藤雄さん「幕末・開陽丸」の出版を祝う集い」の開催について			
第 4 回みなし決議による理事会		日 時	平成 26 年 3 月 3 日 審議事項 評議員会の招集について
第 5 回理事会		日 時	平成 26 年 3 月 26 日 午前 10 時～午前 10 時 40 分
			報告第 1 号 みなし決議による評議員会の

		開催
		議案第 1 号 平成 26 年度事業計画について
		議案第 2 号 平成 26 年度収支予算について
		議案第 3 号 理事の利益相反取引の承認について
		議案第 4 号 開陽丸の修繕工事について

(2) 評議員会

定時評議員会	ア	日 時	平成 24 年 5 月 29 日 午前 10 時～午前 10 時 40 分
	イ	場 所	開陽丸青少年センター研修室
	ウ	審議事項	報告第 1 号 平成 24 年度事業報告について
			議案第 1 号 平成 24 年度計算書類等の承認について
報告第 2 号 公益目的支出計画実施報告書について			
			報告第 3 号 平成 23 年度監査報告の承認について
第 2 回評議員会	ア	日 時	平成 25 年 10 月 24 日 午後 1 時～午後 1 時 50 分
	イ	場 所	開陽丸青少年センター研修室
	ウ	審議事項	報告第 1 号 平成 25 年度職務執行状況の(上期業務)報告について
			議案第 1 号 開陽丸青少年センターの運営(冬期間の休館)について
議案第 2 号 「石橋藤雄さん「幕末・開陽丸」の出版を祝う集い」の開催について			
第 3 回評議員会	ア	日 時	平成 26 年 3 月 26 日 午後 1 時～午後 1 時 40 分
	イ	場 所	開陽丸青少年センター研修室
	ウ	審議事項	議案第 1 号 平成 26 年度事業計画について
			議案第 2 号 平成 26 年度収支予算について
			報告第 1 号 理事の利益相反取引の承認について
			報告第 2 号 開陽丸の修繕工事について

5.代表理事及び副理事長の職務執行状況(定款 23 条 3 項)

日 付	職 務 内 容	出席者
4 月 12 日	館長からの業務報告	代表理事
5 月 10 日	平成 25 年度第 1 回理事会	代表理事・副理事長
5 月 17 日	中島三郎助と遊ぶ会歓迎挨拶	代表理事・副理事長
5 月 25 日	ぶらっと江差主催花見会挨拶	代表理事
5 月 29 日	定時評議員会出席	代表理事
7 月 1 日	館長からの業務報告	代表理事
9 月 14 日	開陽丸友の会用務	代表理事
10 月 1 日	館長からの業務報告	代表理事
10 月 24 日	第 3 回理事会	代表理事
10 月 24 日	第 2 回評議員会	代表理事
11 月 1 日	館長からの業務報告	代表理事
11 月 22 日	石橋藤雄氏出版記念祝賀会	代表理事・副理事長
12 月 11 日	館長からの業務報告	代表理事
1 月 25 日	開陽丸友の会新年会	代表理事
2 月 26 日	館長からの業務報告	代表理事
3 月 11 日	館長からの業務報告	代表理事
3 月 26 日	第 5 回理事会	代表理事
3 月 26 日	第 3 回評議員会	代表理事

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

資料1

平成25年度入館者数及び入館料の状況

単位:人・%・円

	年度	大人	子ども	団体大人	団体子ども	計	無料	合計	うち青少年者数	青少年の割合	入館料(円)	対前年同月比(%)
4月	25年度	672	89	31	3	795	5	800	92	11.5	362,775	▲ 15.6
	24年度	766	83	63	6	918	1,229	2,147	282	13.1	429,750	
5月	25年度	2,349	278	598	100	3,325	187	3,512	469	13.4	1,502,425	24.1
	24年度	2,149	244	193	10	2,596	59	2,655	282	10.6	1,210,225	
6月	25年度	1,187	55	419	104	1,765	43	1,808	188	10.4	802,175	▲ 10.4
	24年度	1,078	39	608	375	2,100	83	2,183	443	20.3	895,525	
7月	25年度	1,788	124	326	13	2,251	17	2,268	137	6.0	1,058,625	▲ 1.7
	24年度	1,550	129	371	509	2,559	31	2,590	652	25.2	1,076,550	
8月	25年度	2,616	535	199	89	3,439	160	3,599	687	19.1	1,531,975	▲ 2.0
	24年度	2,604	478	316	88	3,486	92	3,578	580	16.2	1,563,150	
9月	25年度	1,721	74	360	1,447	3,602	103	3,705	1,568	42.3	1,347,375	5.3
	24年度	1,590	114	354	1,396	3,454	137	3,591	1,524	42.4	1,279,975	
10月	25年度	1,273	58	299	232	1,862	33	1,895	290	15.3	822,150	11.1
	24年度	1,014	64	397	211	1,686	7	1,420	275	10.5	739,775	
11月	25年度	511	39	430	3	983	25	1,008	42	4.2	453,825	4.8
	24年度	424	20	487	4	935	50	985	60	6.1	433,200	
12月	25年度	221	10	95	28	354	4	358	38	10.6	158,850	138.2
	24年度	126	5	7	0	138	27	165	19	11.5	66,700	
1月	25年度	1	0	0	0	1	5	6	0	0.0	450	#DIV/0!
	24年度	0		0		0	6	6	0		0	
2月	25年度	9	0	0	0	9	7	16	0	0.0	4,400	▲ 71.0
	24年度	5	2	27	0	34	0	34	2	5.9	15,150	
3月	25年度	154	32	9	49	244	6	250	82	32.8	96,825	41.8
	24年度	111	18	19	0	148	0	148	18	12.2	68,300	
計	25年度	12,502	1,294	2,766	2,068	18,630	595	19,225	3,593	18.7	8,141,850	4.7
	24年度	11,417	1,196	2,842	2,599	18,054	1,721	19,502	4,137	21.2	7,778,300	
	比率(%)	9.5	8.2	▲ 2.7	▲ 20.4	3.2	▲ 65.4	▲ 1.4	▲ 13.1		4.7	